



蝉しぐれの降り注ぐ夏の盛りとなりました。暑さ厳しい毎日ですが、皆さんいかがお過ごしでしょうか。
今回は、クーナ・フエゴ代表の『グチさん』に記事を書いてもらいました！
そして先月号に続き、先輩がん患者『ひとぴん』の「はじめてのがん相談室（その2）」をお届けします。
青ちゃんのイラスト、またまた可愛いですね★★★

来月号でもメンバーさんの日常を紹介できたらと思っています。
我こそは新聞に載せたいという方、みんなどうしているかな？と調べている方、ぜひぜひお問い合わせ先まで
ご連絡ください。サロンがない中でも、この新聞で繋がれたらと思っています。（サロンメンバーたかちゃん）



クーナ・フエゴ代表（サロンメンバー） グチさん



クーナの皆さんグチです、コロナ禍のこの暑さをどう乗り切っていますか？
きっといろんな工夫されて過ごされているのでしょうか。サロンも休止中
で、友に逢えず寂しい限りですね。。
この様な中ですがスタッフ、事務局さんは様々な活動をされてますよ。
ブックの配布、ケアキャップの作製、アピアランスケアのスタッフ養成な
ど、頑張ってます。

グチもそろそろお年頃、白いオオカミ、狐に変身して今は夢、幻の時間をど
う楽しもうかなと思い悩んでいます。早くサロンの友の笑顔に逢いたいです
ね。

24時間、ハウスにいと支配人の顔や声に変化して、去りとて毎日自由人
では路銀がねえ一笑。上手い出来ないものだね。
こんな時、テレビでオリンピック🏆、メジャーリーグ🏟の放送は嬉しいで
すね。

スマホ変えたのにフェイスブックも面倒、やはりサロンが必要だな。。
グチもサロンに出会って12年。サロン再開をもう少しお待ち下さいね！

父の果樹園を閉園した跡を、花木に囲まれてと思い、鍬や重機で元気な時間
は誰の意見も聞かずひたすら手入れしてきました。

1年、3年、10年と経ち・・・今は花木は山に変わるほどです。

これで四季を楽しめる場所になった！家族はほめてくれないが、私は満足
です。「ここの四季を何度も見て観たい」と、今日も暑い日です。

1年目の作り始め



3年目は花畑になる



10年目の今は花木の山になる



青ちゃん個展



「石橋をバックにスケッチ」



～がんサバイバーひとぴんの「はじめてのがん相談室」～ （その2：相談に行けたから）

※スタッフさんの声かけで、やっと一歩踏み出せた私。



私が、がん相談室に入ってなにを求めていたかと言うと、「かん友」です。
一人暮らしをしており、毎日寂しくて怖くて・・・という日々でした。
自分の思いをわかってくれる方がいないかと、まずそれを相談したくて行っただけです。

それから、外来や入院の時に相談室へ行くようになり、「気持ちも少しは和らいできた
かなー」と思っていました。友達も心のよりどころになっていました。
けれど、「あれ？いや、これは友達では分からない！専門の方に聞かないとわからな
い！」という事も出てきました。

その時には相談員の方が親身になって対応してくれ、的確な答えが返ってきて、相談室が
あって良かったと改めて思いました。相談室、サイコー！（9月号につづく）